

意見広告

鶴ヶ峰駅周辺〜二俣川駅まで

便利に生まれ変わります

横浜市会議員 佐藤茂

私は横浜市会議長当時、相鉄線の星川駅〜天王町駅間の連続立体交差事業の後、踏み切り除去が必要なのは、相鉄線の鶴ヶ峰駅周辺〜二俣川駅間（10箇所）の踏み切りだと確信し、次に首都圏

で踏み切り除去が必要な連続立体交差事業区域選定の際、関係各方面に窮状を訴え理解を求めました。勿論、成果を得る事ができたのは、後に総理大臣になられた市会議員の大先輩である菅衆議院議

とができました。ご承知の通り鶴ヶ峰駅周辺は踏み切りが多く慢性的な交通渋滞があり、消防・救急・防災などの緊急活動に影響がでるなど、市民生活に支障をきたしています。加えて鉄道により街が分断されており、歩行者の回遊性や街並みの連続性が確保されていらないなど様々な課題を抱えているのが現状です。横浜市の都市計画決定を経て、昨年12月に国、横浜市の大きな支援を得て相鉄線の連続立体交差事業による、鶴ヶ峰駅周辺の地下化工事が着工され、令和15年度末完成予定です。将来踏み切りが無くなれば計画されて



佐藤茂 プロフィール

- 昭和30年生まれ ●関東学院大学文学部卒業
- 衆議院議員 佐藤一郎秘書
- 平成3年横浜市議員選挙より連続9回当選
- 第45代横浜市議長 ●京浜港広域連携推進議員連盟会長
- 神奈川県内広域水道企業団議会議長
- 旭ベースボールクラブ名誉会長
- ボーイスカウト横浜107回顧問 ●社会福祉法人恵泉会代表

佐藤茂事務所 ☎s-sato@heart.ocn.ne.jp

連続立体交差事業による効果

- 踏切遮断がゼロになり、車渋滞と通勤通学の不便さが解消される
- 消防・救急活動、避難行動の際、安全性が向上する
- 鉄道上部空間の活用により、街の賑わい・活性化が期待される
- 周辺住民はもとより、バス・タクシー・流通事業者にも恩恵が大きい



▲事業の詳細はこちらから

ている鶴ヶ峰駅北口周辺の再開発もあり、利便性の向上が期待され、益々子育て世代をはじめ、誰もが住みやすい街へと生まれ変わるでしょう。今後も工事が遅滞なく進捗する事、そして未来の旭区がより住み続けたい街として進化するように努めて参ります。